

日本光学会が日本学術会議の定める協力学術研究団体に指定

日本光学会は、学会としての活動実績が認められ、このたび日本学術会議（注1）より協力学術研究団体（注2）としての指定を受けました。この指定を契機として、日本光学会の活動がさらに展開されることが期待されます。

会員の皆さまにおかれましても、学会がまたひとつ成長を遂げ、活性化を一層進展させるべく進んで行くにあたり、これまでも増しての積極的なご支援とご協力をいただいておりますようお願いいたします。

注1 日本学術会議は、わが国の人文・社会科学、自然科学全分野の科学者の意見をまとめ、国内外に対して発信する日本の代表機関です。

注2 協力学術研究団体は、100名以上の個人会員（うち半数以上が研究者）により構成され、学術研究の向上発達を主たる目的として、その達成のために研究者自身の運営により学術研究活動が推進されている団体のうち、日本学術会議にその活動内容や構成要件が条件を満たしているとの認定を受けたものです。学術研究（論文等）を掲載する機関誌を自らの管理運営で、年1回以上継続して発行していること等も必要な要件に挙げられています。

第31回総務委員会議事要録

日 時： 2018年1月20日(土) 13:30~17:00

場 所： 筑波大学東京キャンパス文京校舎432ゼミ室

出席者： 谷田会長、他12名、オブザーバー1名

議 事：

1. 審議事項

- ・2018年度の運営委員の案が承認された。
- ・第3回定時総会（3月20日開催）の準備状況が報告され、承認された。
- ・同日に開催される委員総会の実施案が承認された。
- ・光学論文賞および光学奨励賞の審査委員長を選出し、委嘱することが承認された。
- ・板橋区と結んでいる事務所等の使用契約の更新が承認された。
- ・日本光学会が主催する国際会議で学術誌に特集を組む場合、原則としてOptical Reviewでの特集としていくために、主催申請書にその旨を記載することとした。
- ・OPJ 2018の準備状況が報告され、OSAとOSKとの

ジョイントシンポジウムを行うことを決めた。また、応用物理学会との共催が承認された。

2. 報告事項

- ・Optical Reviewの2017年実績と今後の予定について
- ・冬期講習会の開催結果について
- ・冬期講習会資料の著作権について
- ・CP+ Camera & Photo Imaging Show 2018への出展について
- ・タイ王国との国際連携（MOU）の準備状況について
- ・OPJの出展ブースについて
- ・CLEO-PR 2018に関する進捗報告について

第7回アジア太平洋光センサ会議（APOS 2018）

APOSは、光計測・光センシングや光ファイバーセンシングに関するアジア太平洋地域を中心とした国際会議で、2008年に中国成都で開催されて以来1年半ごとに行われており、今回、7回目にして初めて日本で開催することになりました。今回は発表件数が約180件ののぼり、アジア太平洋地域に加えヨーロッパ諸国からも参加者があるなど、当該分野の重要な国際会議のひとつとなりつつあります。今回、日本で開催するにあたり、関連分野の皆様のご参加をお待ちしております。

期 日： 2018年5月28日(月)~31日(木)

場 所： くにびきメッセ（島根県立産業交流会館）

主 催： 光ファイバセンサ国際会議日本委員会

共 催： 特定非営利活動法人光ファイバセンシング振興協会

協 賛： 日本光学会、電子情報通信学会、レーザー学会、応用物理学会、計測自動制御学会、電気学会、IEEE Photonics Society Japan Chapter

後 援： 松江コンベンションビューロー

参加費： 事前登録（締切済）50,000円、当日参加60,000円、学生は事前登録20,000円、当日参加25,000円。（消費税含む）

問合せ先： 防衛大学校通信工学科 田中 哲

E-mail satoshi@nda.ac.jp

URL <http://www.apos2018.org/>

JOEM「相関とフーリエ変換で理解できる光学機器」技術講座

日 時： 2018年6月29日(金) 10:00~16:00

場 所： 機械振興会館別館4階（東京都港区芝公園3-5-22）
主 催： 日本オプトメカトロニクス協会
協 賛： 日本光学会，日本光学工業協会，光産業技術振
興協会
参加費： 協賛 35,640 円（テキスト・消費税含む）
定 員： 24 名

申込期限： 2018 年 6 月 22 日（金）
問合せ先： 日本オプトメカトロニクス協会
電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567
E-mail info@joem.or.jp
URL http://www.joem.or.jp

日本光学会 news の掲載申込先：

〒 924-0838 石川県白山市八束穂 3-1 68-210 金沢工業大学情報フロンティア学部メディア情報学科
根岸 一平 電話 076-274-7898 E-mail negishi@neptune.kanazawa-it.ac.jp
なお，掲載申込は原則として発行日（10 日）から 2 か月前の 15 日まで，開催日が 1~10 日の場合は，
開催日の 3 か月前の 15 日までをお願いします。
掲載にあたっては，「日本光学会 news」の掲載基準を日本光学会ホームページでご確認ください。

「応用物理」第 87 巻第 4 号（2018 年 4 月号）予定目次

総合報告

NV 中心の物理と応用への魅力 …………… 水落憲和

最近の展望

トンネル FET を用いた超低消費電力集積回路 …………… 森 貴洋
量子化学計算による有機薄膜太陽電池の発電機構解明
…………… 田村宏之

研究紹介

高効率熱活性化遅延蛍光分子の励起状態ダイナミクス
…………… 細貝拓也
昆虫の光応答と LED を用いた光防除技術への応用
…………… 藤田和久，霜田政美

光で動くアモルファス窒化炭素薄膜 …………… 青野祐美

基礎講座

光学系構築（基礎編）——私流の光学系アライメント …… 早崎芳夫

講 義

あなたの資料はわかりやすく魅力的？——研究者のための
ビジュアルデザイン入門 …………… 有賀雅奈

ホッとひといき

放射光施設 SPring-8 を使ってみよう——ナノスケールその場
観察に向けて …………… 内山裕士

Inside Out

Twenty years of trust and friendship …………… Sebastian VOLZ

委員会だより

数字で見る応物の男女共同参画(1) ——会員動向から見えて
くるもの …………… 塩尻誠子，白石陽子，河西奈保子，松木伸行

Science As Art

電気の蜘蛛の巣…………… 川崎仁晴